

トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2017年11月11日～2017年11月17日までの推移】

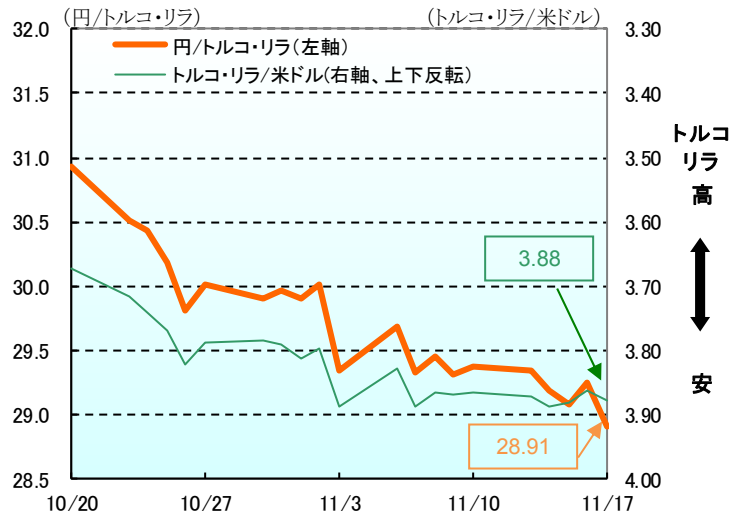
【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は1週間を通して見ると対米ドル、対円で下落となりました。またトルコの2年国債金利は上昇しました。

9月の経常収支は市場予想をやや上回る赤字幅となりました。ロシアでプーチン大統領と会談したエルドアン大統領はシリア和平に向けてお互いに協力することで一致しました。

トルコ金融市場では、中央銀行が通貨安抑制策を実施しているものの、トルコ・リラの下落に歯止めがかからず、トルコ国債金利も上昇しました。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2017年10月20日～2017年11月17日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

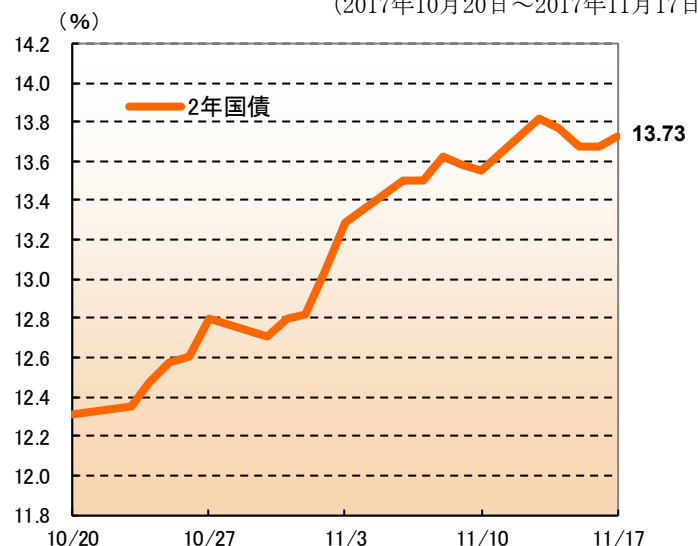
今週は、特段重要な経済指標の発表は予定されていません。

以前から、エルドアン大統領はトルコのインフレが高い要因として金利が高いことを挙げており、金融引き締め姿勢を維持するトルコ中央銀行を批判してきました。エルドアン大統領の利下げ圧力がますます強まった場合には、中央銀行の独立性への懸念が高まる可能性も考えられます。

引き続き、中央銀行の通貨安抑制策をめぐる思惑が相場の材料となりやすい環境が続くと想定します。またイランのマナー・ロンダリング事件に関与した疑いで拘束されているレザ・ザラブ氏の裁判は、1週間延期された模様です。

【トルコ 金利推移】

(2017年10月20日～2017年11月17日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>